

平成 28 年度

第 3 回磐田市協働のまちづくり推進委員会 会議録

日 時	平成 29 年 2 月 13 日（月）午後 2 時 00 分～3 時 30 分
場 所	磐田市役所西庁舎 3 階 303 会議室
出席委員	河井孝仁委員、藤原孝一委員、小畑利栄委員、 三輪浜子委員、大杉昌弘委員、山下貢史委員、 山下和也委員、袴田浩之委員 (欠席者 2 人)
事務局	市民部市民活動推進課長、グループ長、主任（2 名）
オブザーバー	磐田市市民活動センター長、事務長 総務部自治振興課グループ長

[議題]

- 1 平成 29 年度事業の方向性について
- 2 交流センター・地域づくり協議会について

資料 平成 29 年度事業の方向性について

資料 地域活動の拠点「交流センター」を中心とした地域づくりについて

資料 市民活動フェスタ 2017

[会議概要]

- G長 定刻になりましたので、第3回協働のまちづくり推進委員会を開催いたします。お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。
- 本日、副委員長の神谷委員、ボランティア連絡協議会の山形委員がご都合により欠席です。出席者が過半数を超えていますので、協働のまちづくり推進委員会規則第3条第2項によりこの委員会が成立することをご報告します。
- それでは初めに、委員長からのご挨拶をお願いします。
- 委員長 こんにちは。
- 来年度に向けていろいろと動きがあると聞いています。必要なことを聞き取って委員会として議論していただきたいと思います。よろしくお願いします。
- G長 ありがとうございます。それでは、議事に移ります
- ここからの進行につきまして、委員長をお願いします。委員長、よろしくお願いします。
- 委員長 では、お手元の次第にしたがって、議事を進めていきます。
- 議題1「平成29年度事業の方向性について」事務局から、説明をお願いします。
- 事務局 一事務局説明・平成29年度事業の方向性について—
- ◎平成29年度事業全体の概要について
- ・平成29年度市役所の機構改革が行われる。少子高齢化、人口減少、コミュニティの希薄化など地域の状況変化に対応
 - ・市民部・総務部 ⇒ 自治市民部の編成
 - ・自治振興課・市民活動推進課 ⇒ 地域づくり応援課の再編
地域自治、市民活動の支援、促進を行う。
 - ・地域づくり協議会の組織によって、地域主導の地域づくりが行われる。地域の実情によって、地域づくりの内容は変わってくる。
 - ・協働について、市民活動の活動状況の発信、市民活動センターによる啓発事業を実施してきた。これからは、自らが関わる協働のあるべき姿を推進。
 - ・地域づくり協議会、交流センターを中心に協働（市民活動団体、地域組織、事業所）を推進
 - ・ネットワークづくり、マッチング、人材発掘、人材育成を進めるこ

とが今後必要。

- ・転換期。事業の見直し、新たな事業整理の1年となると考える。
- ・委員会からは、今後も様々な意見をいただきたい。

◎中間報告以降の事業の様子について

- ・まち美化パートナー情報交換会について
- ・協働のまちづくり提案事業について
- ・市民活動センター事業の様子について

①協働シンポジウム

②防災ファミリー運動会

◎今後の協働推進について

①情報の収集と発信

②人材育成について⇒中高生、大学生の市民活動参加へのきっかけづくり

◎市民活動センター受託団体：

NPO法人磐田まちづくりネットワークの協働推進についての考え

- ・これからは、地域連携が必要と考え、昨年度から交流センターとの関係づくりを行ってきた。交流センター講座等の相談もあり、交流センターへの支援を継続していく。
- ・交流センターへの市民活動団体紹介パネルの貸し出しによる啓発活動
- ・県青少年指導者級別認定事業・初級（中学生リーダー育成ボランティア講座）の取り組みを初めて実施。地域を知る、コミュニケーションの大切さ、地域愛の自覚（磐田が好き）につながり、中学生からは今後の活動に前向きな感想が出た。高校生の中級事業にも取り組んでいきたい。

◎お知らせ：

平成29年度「協働のまちづくり提案事業」の休止について

委員長

引き続き、自治振興課からの説明を受けた後で、委員からご意見、ご感想を伺います。

自治振興課グループ長、お願いします。

自治振興課

—「交流センター・地域づくり協議会」説明—

委員長

説明、ありがとうございました。では、前段の部分も含め、ご質問、ご意見などありましたら、お願いします。

平成29年度の組織改正の中で、この協働のまちづくり推進委員会の位

置づけはどのようになるのでしょうか。

課長 この委員会は、地域づくり応援課の所管となります。協働のまちづくり推進条例に基づいて行っている委員会であるため、その位置づけは変わらないこととなります。

委員長 議論をする内容は、どうなるのか。今までは比較的分かりやすくなっていて、担当課が事業計画を作り、事業内容が分かるようになっていた。そして必要に応じ、内容について提案をしたり、意見を述べてきた。

委員会としては、このような役割をもっていたが、地域づくり応援課になったら、従来、自治振興課が行っていた業務については、協働のまちづくり推進委員会は直接、タッチしないという考えでよいのか。

課長 そのような考えで良いです。ただ、地域組織も広い意味で市民活動団体と捉えています。その部分での関わりは出てくると考えています。

「自治」といった部分での関わりは無いと考えています。

委員長 分かりにくいところがあるが、条例があるためそのまま行います、といった感じに受け取っています。来年度の委員会では、委員会の目的を明らかにしていただき、何について議論すべきなのかを明確にしていだきたい。

自治振興課と密接に関わっている分、分かりにくいところが出てきているとも感じます。

新しい話ですから、委員の皆さんがそれぞれに咀嚼していただき、必要に応じ、個人としても問い合わせただければよいと思います。

他にどうでしょうか。なければ議事はこれで終了として、私のほうはこれでお返しします。ありがとうございました。

G長 委員長、ありがとうございました。

折角の機会ですので、情報提供、市に対するご質問、ご意見などありましたら、ぜひご発言ください。

【連絡事項・事務局より】

市民活動フェスタ

3月18日（土）ワークピア磐田

委員任期について

10月末日まで任期。

平成 29 年度委員会については、第 1 回委員会通常 6 月ごろの開催。

以上で、第 3 回協働のまちづくり推進委員会を閉会します。長時間にわたり、誠にありがとうございました。